

平成22年9月10日

総務部 予算調整室

連絡先 059-224-2216

平成22年度 9月補正予算について

今回の補正予算は、厳しい雇用・経済情勢に鑑み、緊急雇用・経済対策を実施するほか、新たに実施が必要となった事業について、所要の措置を講じるものです。

【9月補正後の予算規模】

(単位:千円、%)

	21年度最終 予算額	22年度現計 予算額	9月補正額	補正後累計	伸び率	
					/	/
一般会計	768,749,937	682,265,796	316,367	682,582,163	11.2	0.0
特別会計	23,962,162	126,372,724	-	126,372,724	427.4	0.0
企業会計	58,284,980	63,546,906	-	63,546,906	9.0	0.0
合計	850,997,079	872,185,426	316,367	872,501,793	2.5	0.0

一般会計の内容

316,367千円

1 歳入の主要点

(1) 国庫支出金

135,912千円

国庫支出金については、新型インフルエンザワクチン接種助成費臨時補助金で135,912千円を増額補正する。

(2) 繰入金

180,348千円

基金繰入金については、財政調整基金で192,344千円を増額、緊急雇用創出事業臨時特例基金で472,124千円を増額、庁舎等整備基金で488,762千円の減額など、あわせて、180,348千円を増額補正する。

2 歳出の主要点

(1) 第九次緊急雇用経済対策

576,873千円

緊急的な雇用機会の創出

緊急雇用創出事業

323,448千円

急激な経済情勢の変動により、離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を提供する。

(新規雇用創出174人)

重点分野における雇用機会の創出

重点分野雇用創出事業 59,850千円

地域人材育成事業 88,933千円

介護、医療、農林水産、環境・エネルギー、観光、地域社会雇用等の成長が期待される重点分野における雇用の創出や地域のニーズに応じた人材の育成に取り組むため、148,783千円を増額補正する。(新規雇用創出 93人)

継続的な雇用機会の創出

三重県ふるさと雇用再生特別基金事業 4,642千円

地域の実情に応じた創意工夫に基づき、新たに求職者等を雇用して行う事業を実施することにより、地域における継続的な雇用機会を創出するため、4,642千円を増額補正する。(新規雇用創出 2人)

経済対策

緊急経済対策設備投資促進補助金 100,000千円

中小規模の設備投資により新たな生産施設や研究開発施設の新・増設を行う事業者に対して補助するため、100,000千円を増額補正する。

(2) 医師確保対策事業 10,564千円

不足する医師の確保をめざし、医師確保のための活動を充実させるため、10,564千円を増額補正する。

(3) 新型インフルエンザ対策事業 203,869千円

新型インフルエンザワクチン接種費用に関して、低所得者等の負担軽減を講じる市町に対して支援を行うため、203,869千円を増額補正する。

(4) 児童一時保護事業 8,942千円

緊急に保護を必要とする案件に迅速に対応し、児童の安全と安心を確保できるよう、中勢児童相談所の一時保護所を増改築するため、8,942千円を増額補正する。
併せて債務負担行為を設定する。

- (5) 児童虐待防止地域相談体制強化促進事業 3,570千円
県内で重篤な児童虐待事件が発生したことを受け、11月の「子ども虐待防止啓発月間」を中心に取組を一層強化することとし、県内全域をキャンペーンカーで巡回するなど、市町とともに県民及び関係機関に対し、児童虐待の防止や早期発見・通告への協力を呼びかけるため、3,570千円を増額補正する。
- (6) 農業経営近代化資金融通事業 1,250千円
口蹄疫の国内発生に伴う影響（防疫対策及び素牛価格の高騰等）に対処し、県内畜産農家の経営維持・安定を図るため、日本政策金融公庫の農林漁業セーフティネット資金に利子助成を行う。併せて債務負担行為を設定する。
- (7) 鳥羽伊良湖航路対策事業 61千円
鳥羽伊良湖航路の一般旅客定期航路事業を営む伊勢湾フェリー株式会社の株式の一部を取得するため、61千円を増額補正する。
- (8) 総合文化センター駐車場整備事業 488,762千円
総合文化センター駐車場整備について、工期の変更に伴い488,762千円を減額補正する。併せて債務負担行為の年度割を変更する。